1. 授業の概要(ねらい)

○〇社会学といった呼称を、連字符社会学と呼ぶことがあります。本講が論じる政治社会学は、政治学と社会学にまたがった領域といえますが、あくまで社会学として論じていきます。

「政治」の定義はひとまずおくと、本講では、個人に外在する「政治」が、われわれにどのような影響を及ぼすのか。われわれは「政治」に、どのような影響を与えうるのか。政治的コミュニケーションにおいて、メディアはどのように関わるのか。そのような問題を、ともに考えます。

本講では一部、ペアワークなどを行います。他の参加者と意見や考えを共有しましょう。

*新型コロナ・ウイルスの状況によって、内容を変更する場合があります。コロナ禍が維持・拡大の場合、コロナ関連の政治・社会状況を論じていきます。

*本講義は対面を想定していますが、新型コロナ・ウイルスの状況によっては、オンラインとなる可能性があります。

2. 授業の到達目標

- 1) 政治と社会について、説明することができる。
- 2) さまざまな「政治」を、われわれ個人や社会との関連のなかで捉え、論じることができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート(60%)と課題提出(40%)をもって評価する。
課題提出は、LMSの「掲示板」を使用する予定である。

4. 教科書・参考文献

教科書

*教科書は特に指定しない。

参考文献

伊藤高史 『ジャーナリズムの政治社会学』 世界思想社、2010年
加藤秀治郎・岩渕美克、他 『政治社会学』 一藝社、2013年

5. 準備学修の内容

▼授業では新聞記事を多用します。新聞記事や授業の内容から、1) 興味関心を広げ、2) 関心を絞り込み、3) 特定の事例について調べ、4) 再び受講してください。

▼毎週、1) から4) を繰り返し、2回の試験に臨んでください。リアクションペーパーやペアワークについても、同様です。

6. その他履修上の注意事項

▼「政治社会学Ⅰ」(前期)を履修することが望ましい。

▼アクチュアルな時事問題を積極的に取り入れていきます。そのため、シラバス上の授業内容と相前後する場合があります。

▼この科目は今般の情勢に対応して履修者の制限をする可能性があります。履修登録にあたっては大学のホームページの<インフォメーション>で関連情報を確認してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、イントロダクション
- 【第2回】 政治に関する一般的理解:何が、どう問題なのか
*第2回以降、新型コロナ・ウイルス関連を多く採り上げる可能性がある。
- 【第3回】 われわれは何を、どこまで知っているのか:構築されたリアリティ
- 【第4回】 具体的事例①:トランプ大統領とフェイクニュース
- 【第5回】 具体的事例②:ケネディ大統領と米国民がみた「夢」
- 【第6回】 具体的事例③:小泉首相におけるポピュリズム
- 【第7回】 具体的事例④:日本における「政治の季節」~若者が政治に熱狂した時代
- 【第8回】 前半のまとめ
- 【第9回】 時事問題(中間試験を実施する可能性があります)
- 【第10回】 グローバル化の政治的影響①:国境がなくなる?
- 【第11回】 グローバル化の政治的影響②:行き過ぎた市場原理
- 【第12回】 政治過程のメカニズム
- 【第13回】 政策決定のメカニズム
- 【第14回】 質疑応答とペアワーク
- 【第15回】 まとめ